

## 平成26年度 第2回 農福連携推進研修会 開催要領

### 1. 目的

県内の障がい者施設の多くはすでに農業に取り組んでいたり、これから農業に取り組みたい意向があるなど、農業に対する関心は高まっている。

一方、農業者側は繁忙期などにおける労働力確保、耕作放棄地解消などの課題があり、その解決方法の一つとして「農福連携」が考えられるものの、農業者にとっては、障がいのある方や福祉関係機関との接点が少ないことから、障がいのある方への対応、実習や研修、就労を受け入れる際に活用できる福祉制度、サポートする支援機関などについて情報が少なく、障がい福祉との連携を躊躇していることが多い。

そのため、障がいのある方の農作業の可能性や実践事例を紹介することで、福祉施設の農業への取り組みを推進するとともに、農業者側における障がい福祉との連携に関する理解と醸成を図る。

2. 開催期日 平成27年2月10日（火） 13：15～16：10

3. 開催場所 浜田ワシントンホテルプラザ 浜田市黒川町4177 Tell 0855-23-6111

4. 主催 島根県  
公益財団法人しまね農業振興公社

5. 後援 島根県教育委員会  
島根県障がい者就労事業振興センター

### 6. 内容

(1) 開会 13：15

#### (2) 講演

演題 「(仮題) 障がい福祉における農業の可能性」 13：20～14：50

講師 内日福祉会 理事長 中本英樹 氏（山口県下関市大字植田字弥次郎）

講演内容

講師は障がい者関連病院勤務中に、農作業を通じた治療効果を実感、自ら農業に取り組み、地域での認知を待って農業を基本とした福祉事業所を立ち上げた。地域の農業の担い手として高齢農家の農地を引き受け、規模を拡大。現在、施設設立12年目、ハウス13棟で百合を中心とした花きと野菜、水稲約4haを栽培。また、近隣の福祉事業所を引き受け、原木シイタケ栽培等も手がけている。グループ事業所としてグループホーム、児童福祉事業所2カ所を運営。

講演では、講師の障がい福祉に対する思い、農業を始める際や地域に認知されるまでの苦労、福祉から見た農業の課題・可能性・魅力、農業における障がい福祉の可能性などについて講演、障がい福祉と農業双方にとっても大変参考になる内容。

(3) 事例報告 15:00～15:50

①社会福祉法人 昇陽会 障がい者支援センター ひまわり  
自園での野菜栽培と加工販売及び新規就農者の出荷調整作業の受託  
報告者 支援員 松本宏基 氏

②社会福祉法人 いわみ福祉会 ワークくわの木 金城第2事業所  
年間を通した野菜の少量多品目生産と地元販売及び養鶏経営  
報告者 グループリーダー 山崎 晃 氏

(4) 支援制度説明 15:50～16:10

(5) 閉会 16:10

7. 参集者

- ・障がい者施設職員
- ・農福連携に関心のある農業経営者
- ・特別支援学校の進路担当者
- ・県、市町村、JA等農業及び福祉の関係機関・団体の担当者

8. 参加申込方法

参加希望者は、平成27年2月4日（水）までに、別紙「農福連携推進研修会 出席報告」により、ファクシミリにて（公財）しまね農業振興公社あて申し込むこと

(問合せ先)

公益財団法人しまね農業振興公社

就農促進課 青山、矢田

TEL: 0852-20-2872

FAX: 0852-31-9864

別紙

## 農福連携推進研修会 出席報告

所属名 又は 施設名	
出席者	職 氏名
	職 氏名

2月4日（水）までにご報告をお願いします。

送付先

公益財団法人 しまね農業振興公社 就農促進課  
農福連携 コーディネーター（青山 矢田）  
**FAX 0852-31-9864**